

関西創生戦略（2018 改訂版）の概要

改訂の趣旨

施策の取組内容を変更したことに伴う重要業績評価指標（KPI）の見直し、前年度の実績等を踏まえた重要業績評価指標（KPI）の目標の数値の見直しのほか、所要の修正を行う。

改訂の内容

（1）施策の取組内容を変更したことに伴い重要業績評価指標（KPI）を見直すもの

基本的方向 日本を元気に先導する関西経済を創造

施策名 関西健康・医療創生会議によるイノベーション創出・推進の検討

（H29 年度）

取組内容	
<p>○ 「関西健康・医療創生会議」において、関西広域の共通課題として取り組むべきテーマごとに分科会を設置し、シンポジウム、産学官連携事業に関する研究会を実施する。研究開発や実証研究の企画・調整を推進する。</p> <p><テーマ内容例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な健康・診療データを共同でクラウド化して集約し、診療や予防医療の研究、創薬・健康等のビジネスに役立つ仕組みの構築、府県域を超えた遠隔医療等の推進 ・病理診断の省力化、迅速化、情報の共有化を図るため、ICTを活用した医療機関ネットワークの形成、病理診断技術の確立とデータベースの構築 ・AI（人工知能）技術等を活用した画像解析、診断の推進 ・医学の知識をまちづくりに活かす「MBT（医学を基礎とするまちづくり）」を推進し、少子高齢社会を解決するモデルを構築 ・軽度認知機能障害（MCI）の診断に基づいた認知症の進行を抑える早期介入、生活支援のための広域的な仕組みづくり ・広域的な大学間連携による未来の医療～精密医療～を担う人材、地域医療・産業を支える人材の育成 	
重要業績評価指標（KPI）	
項目	目標
広域の産学官連携によるイノベーション推進（研究開発）プロジェクトの立案と資金獲得に向けた提案数	2分野（分科会）でのプロジェクト（計2プロジェクト以上）提案



（H30 年度）

取組内容	
<p>○ 「関西健康・医療創生会議」において、平成 27 年度から平成 29 年度までは、関西広域の共通課題として取り組むべきテーマごとに分科会を設置し、シンポジウム、産学官連携事業に関する研究会を実施するなど、研究開発や実証研究の企画・調整を推進した。</p> <p>○ 平成 30 年度からは、分科会等の取組を踏まえ、産業界や大学と連携を図り、健康・医療データを活用できる関西全体の環境整備に重点を置いた取組を推進する。</p> <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康・医療データの収集・連携・利活用の理解促進のための、産業界や自治体関係者を対象とするセミナーの開催（年 1 回、50 名程度） ・健康・医療データの収集・連携・利活用に関する能力向上を図る、専門人材の育成を目指した、産業界や自治体関係者を対象とする研修会の開催（年 1 回、50 名程度） 	
重要業績評価指標（KPI）	
項目	目標
健康・医療データの収集・連携・利活用の推進にかかるセミナー等参加者数	年 100 人以上

【見直しの理由】 平成 30 年度からは、健康・医療分野において関西が世界を先導できる新産業を創出していくため、競争力の源泉となる健康・医療関連のビッグデータを活用できる関西全体の環境整備に重点化し、健康・医療データの収集・連携・利活用の推進や人材育成に注力していく。

(2) 前年度の実績等を踏まえ、重要業績評価指標（K P I）の目標の数値を見直すもの

基本的方向 「アジアの文化観光首都」の創造

施策名	重要業績評価指標（K P I）		見直しの理由
	項目	目標	
ジオパーク活動の推進	ジオパーク拠点施設への入込客数	(29 年度) 年 48 万人以上  (30 年度) 年 38 万人以上	8 つあるジオパーク拠点施設の内 1 施設でリニューアル工事を実施しているため、下方修正 (H29 実績：371,852 人)
無料 Wi-Fi 環境整備の推進	「KANSAI Wi-Fi (Official)」アプリのダウンロード数	(29 年度) *50,000 件(内、外国人 25,000 件)  (30 年度) *100,000 件(内、外国人 50,000 件)	H29 実績が 64,611 件 (内、外国人 25,456 件) であるため、上方修正

※目標数値は平成 28 年度からの累計

基本的方向 「環境先進地域」の創造（持続可能な社会の実現）

施策名	重要業績評価指標（K P I）		見直しの理由
	項目	目標	
地域特性を活かした交流型環境学習の推進	環境学習船「うみのこ」を活用した交流型環境学習の参加者数	(29 年度) 年 180 人以上  (30 年度) 年 90 人以上	新船建造の遅れ等により、実施回数を減らすことによる下方修正

(3) その他、所要の修正を行うもの

大会の名称が確定したことによる「仮称」の削除、年度表記の更新等